

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 27 年 3 月 30 日作成

事務事業名	農地基本台帳管理事業			所属部局	農業委員会		単位番号	11004					
基本政策	□ 実施計画事業			所属課室	農業委員会事務局		課長名	中込 久男					
					所属担当	総務担当		担当者名	塚原 利幸				
政策 計 画 体 系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり			予算科目		会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
					01	一般	06	01	01	020	09		
					事業区分	□ 国の制度による義務的事業		□ 施設等維持管理事業					
			<input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業			□ 補助金交付事業							
			□ 市の制度による義務的事業			□ その他の事業							
			□ 義務化されている協議会等の負担金										
施策	07 農林水産業の振興			事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠				農業委員会等に関する法律	
事業の内容 事務事業の概要	12 生産を支える基盤の整備充実			事業の内容 事務事業の概要	事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 )			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 )					
						項目(細節)		金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
						消耗品費		69					
						その他委託料		1,356					
						機械器具購入費		180					
									計	1,605			

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

①活動			
26年度活動内容		・固定資産、住民基本台帳及び申請書等による補正。・調査等による補正。農地法改正に伴うシステム改修。	
27年度活動予定		・固定資産、住民基本台帳及び申請書等による補正。・調査等による補正。システムの維持管理。	
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			
農地所有者もしくは貸借している世帯等。			
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)			
・農地等情報の効果的な活用 ・優良農地の保全 ・農地利用集積の円滑化			
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)			
新規就農者等を増やし、農業の活性化を図る。			

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 更新件数	件
イ	
ウ	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 農地所有者数	人
イ	
ウ	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 遊休農地解消面積	ha
イ 農地利用集積面積	ha
ウ	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 新規農業者数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円		1,188				
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	223	228	417	219	219	
		事業費計 (A)	千円	223	228	1,605	219	219	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	253	253	253	253	253	
		人件費計 (B)	千円	1,151	1,151	1,151	1,151	1,151	0
		(A)+(B)	千円	1,374	1,379	2,756	1,370	1,370	0
活動指標		ア 件	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	
		イ							
		ウ							
対象指標		ア 人	8,800.0	8,600.0	8,400.0	8,400.0	8,400.0	8,400.0	
		イ							
		ウ							
成果指標		ア ha	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
		イ ha	173.0	181.0	189.0	197.0	197.0	197.0	
		ウ							
上位成果指標		ア 人	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
		イ							

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和34.35年度において各市町村における農業振興計画の樹立および実施の推進等にかかる事務を的確かつ迅速に処理するため、また農政活動のための基礎資料とするため、全市町村農業委員会に「農家基本台帳」を導入した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	農業従事者の高齢化や後継者不足により、優良農地の確保及びその有効利用、担い手の育成確保等課題が山積している。今後も同じような傾向が続くと思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	意見、要望なし

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている ⇒【内容】」 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない ⇒【理由】」 <input type="checkbox"/>
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	紙ベースの台帳から、電算システム化している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	農地基本台帳管理事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会事務局
-------	------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか? 意図が上位目的に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 農地、農家の適正な管理が図られ、農業振興に寄与している。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 農業行政を進展させるために必要な事業である。  事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内の農地、農家を対象としているので妥当である。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか?できない場合は何が原因でできないのか?	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 更新内容は全て適正に処理されている。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか?	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】  <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止することはできるか?	<input type="checkbox"/> 影響なし ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 法令に基づき行っている事務であるので影響がある。  <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法令に基づき行っている事務であるので廃止できない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の事業費なので削減できない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか?(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人件費なので削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要はないか?公平公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 法令に基づき行っている事務であり公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農地法の改正に伴う対応も含め、更新を滞ることなく行い、適切なデータ管理が求められる。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																			
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																			
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																			
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了																			
(2)改革改善案について	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
	コスト水準																			
	削減	維持	増加																	
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
低下	<input type="checkbox"/>																			
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成26年度																			
①	成果優先度評価結果 <span style="float:right">⑩</span>																			
②	コスト削減優先度評価結果 <span style="float:right">⑥</span>																			
③																				